

「地域の課題を地域主体のグルメ開発で解決していくまちの元気創出事業」の実施に係る
実施体制・交付金の具体的使途

令和4年度(1年目)

〈実施体制〉

1 地域資源を活用したご当地グルメ開発

市内全域の飲食店等関係事業者の情報をもち、また、新規会員の開拓を積極的に行っている稲沢市観光協会が「稲沢市ご当地グルメ開発委員会」の事務局を担うなど、事業推進の核となり、ご当地グルメを開発する。

2 シティプロモーションの推進

市が主体となり「稲沢市ご当地グルメ開発委員会」と連携しながら、取組内容をWEB広告やデジタルサイネージなどのデジタル技術を活用の上、積極的に市内外に発信し、取組みへの自発的な参加を促すとともに、既存の地域資源や新たに開発される地域資源などを、市民や取組みに関わった方と一体となって、本市の魅力をPRしていく。

〈交付金の具体的使途〉

1 「稲沢市ご当地グルメ開発実行委員会」の設立、推進

- ・ アドバイザーの招へい及び活用 〈572 千円〉
- ・ 実行委員会会議の企画・運営(開催案内・事前打合せ・議事録作成等)運営 〈902 千円〉
- ・ マーケティング調査及び飲食店調査 〈526 千円〉

2 シティプロモーションの推進

- ・ Webサイト・特集ページの制作 〈1,261 千円〉
- ・ Web広告 〈330 千円〉
- ・ デジタルサイネージコンテンツ作成〈24 千円〉
- ・ コンサルティング等全体管理費 〈385 千円〉

令和5年度(2年目)

<実施体制>

1 稲沢市ご当地グルメの開発及び周知

「稲沢市ご当地グルメ開発委員会」が食材(テーマ)を選定し、市内飲食店に対し、本事業への参加を依頼し、店舗ごとにメニュー開発、販売を行うとともに一般市民からもメニューを募集する。

また、PR手法として、実施店舗が一堂に会するグルメイベントを市内都市公園等で開催する。

2 シティプロモーションの推進

市が主体となりWeb特設サイトの特集ページ更新や、Web広告、デジタルサイネージなどのデジタル技術の活用により、開発されたご当地グルメなどについて、市内外に向けてPRする。

併せてPR効果の検証を実施し、その結果を基を踏まえ、より効果的なPR方法を検討する。

<交付金の具体的使途>

1 稲沢市ご当地グルメの開発及び周知

- ・ 各店舗のメニュー開発及び販売のPR等 〈3,000千円〉
- ・ イベントの開催 〈4,000千円〉

2 シティプロモーションの推進

- ・ Webサイト・特集ページの追加、更新 〈755千円〉
- ・ Web広告 〈660千円〉
- ・ 効果検証にかかる調査費 〈200千円〉
- ・ コンサルティング等全体管理費 〈385千円〉

令和6年度(3年目)

<実施体制>

1 稲沢市ご当地グルメの開発及び周知

「稲沢市ご当地グルメ開発委員会」が主体となり実施店舗を回遊させるグルメラリー、実施店舗が一堂に会するグルメイベントを市内都市公園等で開催する。

また、市内のイベントだけではなく、市外のイベントへも出張出店し、開発されたご当地グルメのPRを行う。

2 シティプロモーションの推進

市が主体となりWeb特設サイトの特集ページの更新を引き続き行うとともに、開発されたご当地グルメなどについて、2年目に検討した PR 方法にて、より広角的に PR する。併せて PR 効果の検証を実施し、その結果を踏まえ、より効果的な PR 方法を検討する。

<交付金の具体的用途>

1 稲沢市ご当地グルメの開発及び周知

- ・ 各店舗のメニュー開発及び販売の PR 等 〈500 千円〉
- ・ イベントの開催及び出張出店 〈1,500 千円〉
- ・ グルメラリーの開催 〈1,000 千円〉

2 シティプロモーションの推進

- ・ Webサイト・特集ページの追加、更新 〈755 千円〉
- ・ Web広告 〈660 千円〉
- ・ 効果検証にかかる調査費 〈200 千円〉
- ・ コンサルティング等全体管理費 〈385 千円〉